

6 中学校 技術・家庭科 (家庭) 問題用紙

(8枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 家族・家庭生活について、あとの1～6に答えなさい。

1 次の資料は、昭和五十五年政令第九十八号国勢調査令の一部を示したものです。資料中の空欄 (A)・(B) に当てはまる適切な語句は何ですか。それぞれ書きなさい。

第二条

2 この政令において「世帯」とは、(A) 及び生計を共にする者の集まり又は独立して住居を維持する (B) をいう。

2 人間の知能のうち流動性知能は加齢とともに低下しますが、結晶性知能はあまり低下しないことが分かっています。結晶性知能とは何ですか。簡潔に書きなさい。

3 平均寿命と健康寿命とは、それぞれ何ですか。簡潔に書きなさい。

4 高齢者の生活支援に関する次の文章を読んで、下の (1)～(3) に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(1) 文章中の下線部 ① について、高齢化率とは何ですか。簡潔に書きなさい。

(2) 文章中の下線部 ② について、次の文は、片麻痺のある要介護者の衣服の着脱について説明したものです。文中の空欄 (a)・(b) に当てはまる語は何ですか。それぞれ書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(3) 文章中の空欄 (A) に当てはまる語句は何ですか。書きなさい。

5 次の資料は、昭和二十二年法律第百六十四号児童福祉法の一部を示したものです。資料中の空欄 (A)～(C) に当てはまる適切な語句はそれぞれ何ですか。書きなさい。

第一条

全て児童は、(A) の精神にのつとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、(B) されること、その心身の健やかな (C) 及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。

6 中学校 技術・家庭科（家庭） 問題用紙

(8枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

6 子供の安全について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 次の図は、厚生労働省「平成29年(2017)人口動態統計」に示されている、子供の不慮の事故による死因を年齢(5歳階級)別に割合で示したものです。図中の空欄(A)～(C)に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、下のア～カの中から選び、その記号を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| ア | (A) 窒息 | (B) 転倒・転落 | (C) 交通事故 |
| イ | (A) 窒息 | (B) 交通事故 | (C) 転倒・転落 |
| ウ | (A) 転倒・転落 | (B) 窒息 | (C) 交通事故 |
| エ | (A) 転倒・転落 | (B) 交通事故 | (C) 窒息 |
| オ | (A) 交通事故 | (B) 窒息 | (C) 転倒・転落 |
| カ | (A) 交通事故 | (B) 転倒・転落 | (C) 窒息 |

(2) 右のマークについて、次の①・②に答えなさい。

- ① このマークの名称は何ですか。書きなさい。
- ② どのような製品に付いていますか。簡潔に書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

6 中学校 技術・家庭科（家庭） 問題用紙

(8枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 衣食住の生活について、あとの1～9に答えなさい。

- 1 次の資料Ⅰはリュックの完成図とリュックの蓋を表から見た図、リュック本体と蓋の寸法を示したものです。資料Ⅱはリュックの材料を、資料Ⅲはリュックの縫い方の手順を示したものです。このリュックを製作するとしたとき、リュック本体と蓋の型紙はどのようになりますか。また、それらの型紙の布地への配置はどのようになりますか。資料Ⅰ～Ⅲを参照して、解答用紙に示す図に寸法とともにかきなさい。ただし、リュック本体の底はわでとり、型紙に縫い代は含まないでかくこととします。

資料Ⅰ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

資料Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

資料Ⅲ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 2 次のA～Fは和服（浴衣）のたたみ方（本だたみ）を示しています。A～Fを正しい順序に並べたものとして最も適切なものを、下のア～オの中から選び、その記号を書きなさい。ただし、衿肩明を左にしてたたむこととします。

- A 下前の衿つけを折り返す。
- B 左袖を袖付けで向こう側へ折り返しておき、身丈を衿付け止まりで二つに折る。
- C 下前の上に上前の衿を重ねる。
- D 浴衣を広げ、脇縫いに合わせて下前を折る。
- E 左の脇縫いを右の脇縫いに合わせて重ねる。左袖は右袖を重ねる。
- F 右袖を身頃の下側に折る。

ア A→C→D→B→E→F

イ D→A→C→E→B→F

ウ C→E→A→D→F→B

エ D→C→A→B→F→E

オ C→E→D→A→B→F

6 中学校 技術・家庭科 (家庭) 問題用紙

(8枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

3 次の図Ⅰ～Ⅲは、和裁で用いられる基礎縫いのうちの、くけ方を模式的に示したものです。下の(1)・(2)に答えなさい。

図Ⅰ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図Ⅲ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(1) 図Ⅰ～Ⅲのくけ方の名称はそれぞれ何ですか。書きなさい。

(2) 浴衣地で大裁ちひとえ長着を製作する際、えり下、えり、脇に使用するくけ方として最も適切なものはどれですか。図Ⅰ～Ⅲの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

4 第1学年 衣食住の生活 において、資料Ⅰのとおり題材名、題材の目標及び題材の評価規準を定め、資料Ⅱのとおり指導と評価の計画を立てて、授業を行うこととします。題材の目標を達成させるため、資料Ⅱの第1時ではどのような学習の展開が考えられますか。この時間のねらい、学習活動及び指導上の留意点を書きなさい。

資料Ⅰ

<p>題材名 捨てられる衣服等を使って、学校生活を豊かにする布を用いたバッグを作ろう</p> <p>題材の目標</p> <p>(1) 製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>(3) よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。</p> <p>題材の評価規準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解し、製作が適切にできる。</td> <td>生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</td> <td>よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</td> </tr> </tbody> </table>			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解し、製作が適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解し、製作が適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。						

(8枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

資料Ⅱ

指導と評価の計画（全9時間）

時	○ねらい ・学習活動	●評価規準・評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1			●生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見いだして、課題を設定している。 ・ワークシート	
2・3	【被服実習1】 ○製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解し、適切に製作することができる。 ・小学校の学習を生かし、手順や縫い方等を考え、エコバッグを製作する。	●製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切に製作ができる。 ・ワークシート ・製作物		●生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・ワークシート ・行動観察
4・5	○捨てられる衣服等を使い、学校生活を豊かにするための布を用いたバッグの製作計画や製作について考え、工夫することができる。 ・地域から回収した衣服等の中から再利用する衣服等を選び、製作計画を立てる。 ・同様の作品ごとのグループで、製作計画や製作について発表し合い、見直す。		●生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。 ・製作計画 ・記録表	●生活を豊かにするための布を用いた製作について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・製作計画 ・記録表 ・行動観察
6～8	【被服実習2】 ○用具を安全に取り扱い、捨てられる衣服等を使って、学校生活を豊かにするための布を用いたバッグを製作することができる。 ・各自が選んだ地域から回収した衣服等を使い、各自がデザインしたバッグを製作する。	●製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切に製作ができる。 ・再利用作品 ・行動観察		
9	○完成した作品を発表し合い、評価・改善することができる。 ・製作を振り返り、製作計画及び記録表にまとめる。 ・作品の「取扱説明書」を作成する。 ・同様の作品ごとのグループで発表し合う。 ・他の生徒の発表や作品を参考に、自分の製作について自己評価する。 ・これからの衣生活の中で、不用となった衣服等の再利用について、新たな課題をまとめる。		●生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現し、実践を評価したり、改善したりしている。 ・製作計画 ・記録表 ・行動観察 ・取扱説明書	●よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し創造し、実践しようとしている。 ・製作計画 ・記録表

(8枚のうち6)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

5 脂質について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 脂質は、単純脂質・複合脂質・誘導脂質に分類されます。中性脂肪はどれに分類されますか。書きなさい。

(2) 次の表は、食品(まあじ(皮付き・生)、大豆油、豚肉(中型種肉・ロース・脂身付き・生)、オリーブ油)の可食部100g当たりの脂肪酸の成分を示したものです。表中のア～エのうち、まあじに当てはまるものはどれですか。ア～エの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

(単位: g)

	脂肪酸総量	飽和脂肪酸	一価不飽和脂肪酸	多価不飽和脂肪酸	n-3系多価	n-6系多価
					不飽和脂肪酸	不飽和脂肪酸
ア	92.76	14.87	22.12	55.78	6.10	49.67
イ	21.08	8.97	9.86	2.25	0.13	2.12
ウ	3.37	1.10	1.05	1.22	1.05	0.13
エ	94.58	13.29	74.04	7.24	0.60	6.64

(日本食品標準成分表2022年版(八訂)により作成。)

6 次の資料は、ある男性の特徴を示したものです。下の(1)・(2)に答えなさい。

男性 41歳	身長 170 cm	体重 90.5 kg
--------	-----------	------------

(1) この男性のBMIを求めなさい。ただし、小数点以下を四捨五入して、整数で書きなさい。

(2) 次の表は、厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」に示されている目標とするBMIの範囲(18歳以上)です。

表中の空欄(A)の値として最も適切なものを、下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

年齢(歳)	目標とするBMI
18~49	(A)
50~64	20.0~24.9
65~74	21.5~24.9
75以上	21.5~24.9

ア 18.5~24.9

イ 18.0~24.9

ウ 18.5~27.9

エ 18.0~27.9

7 めばる(生)を使い、120gの三枚おろしを用意したい場合、最小で何gのめばるが必要ですか。書きなさい。ただし、廃棄率は55%とし、整数で書きなさい。

8 次の表は、食品名(野菜)、野菜のあくの除き方及びその作用の一つを示したものです。表中の①～③に当てはまる野菜の組合せとして最も適切なものを、下のア～ウの中から選び、その記号を書きなさい。

食品名(野菜)	野菜のあくの除き方	作用の一つ
①	ぬかを入れた水でゆで、ゆで汁につけて冷ます。	えぐ味成分ホモゲンチジン酸をでんぷんコロイドの吸着作用により除去する。
②	熱湯でゆでる。	水溶性のシュウ酸が溶出除去される。
③	水に浸漬する。	酸化酵素による褐変を防ぐ。

ア ① なす ② たけのこ ③ ほうれん草

イ ① ほうれん草 ② なす ③ たけのこ

ウ ① たけのこ ② ほうれん草 ③ なす

6 中学校 技術・家庭科（家庭） 問題用紙

（8枚のうち7）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（答えは、全て解答用紙に記入すること。）

9 住環境について、次の（1）～（3）に答えなさい。

（1）次の 図Ⅰ～Ⅲは、住宅を模式的に示したものです。各図の住宅の屋根の形の名称として最も適切なものを、下のア～オの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

図Ⅰ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図Ⅲ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ア 方形屋根 イ 切妻屋根 ウ 入母屋屋根 エ 片流れ屋根 オ 寄棟屋根

（2）照明基準総則（J I S Z 9110 : 2010）における手芸・裁縫の維持照度として最も適切なものを、次のア～ウの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 75 [lx] イ 300 [lx] ウ 1000 [lx]

（3）Z E H（ゼッチ）とはどのような住宅ですか。簡潔に書きなさい。

3 消費生活・環境について、あとの1～4に答えなさい。

1 次の図Ⅰ・Ⅱは、容器包装の識別マークです。各図中のA・Bに当てはまる語句はそれぞれ何ですか。書きなさい。

図Ⅰ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2 次の表は、日本の現在の社会保障制度をまとめたものです。表中の空欄（A）・（B）に当てはまる語句はそれぞれ何ですか。漢字で書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。	
-----------------------	--

3 民間保険のメリット・デメリットにはそれぞれどのようなものがありますか。貯蓄と比較するとともに、「損失」という語句を用いて、簡潔に書きなさい。

(8枚のうち8)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

4 次の表は、日本での消費者問題に関する歴史の一部を示したものです。表中の空欄(A)～(D)に当てはまるものの組合せとして最も適切なものはどれですか。下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

1960年	ニセ牛缶事件
1962年	(A)
1976年	サラ金被害が社会問題化
1983年	貸金業の規制等に関する法律(貸金業規制法)公布
1990年	カラーテレビの発煙・発火事故相次ぐ
1994年	(B)
2000年	消費者契約法公布
2001年	国内で初めて牛海綿状脳症にり患した牛を確認
2003年	(C)
2005年	耐震偽装問題
2006年	ガス瞬間湯沸器の一酸化炭素中毒死亡事故問題の顕在化
2008年	中国冷凍ギョウザ問題
2009年	(D)

(消費者庁「消費者問題年表」により作成。)

- ア (A) 消費者庁及び消費者委員会設置 (B) 不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)公布
(C) 製造物責任法(PL法)公布 (D) 食品安全基本法公布
- イ (A) 製造物責任法(PL法)公布 (B) 食品安全基本法公布
(C) 消費者庁及び消費者委員会設置 (D) 不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)公布
- ウ (A) 食品安全基本法公布 (B) 消費者庁及び消費者委員会設置
(C) 不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)公布 (D) 製造物責任法(PL法)公布
- エ (A) 不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)公布 (B) 製造物責任法(PL法)公布
(C) 食品安全基本法公布 (D) 消費者庁及び消費者委員会設置

4 平成29年3月告示の中学校学習指導要領 技術・家庭 について、次の1・2に答えなさい。

1 次の文章は、各分野の目標及び内容〔家庭分野〕内容B衣食住の生活(3)日常食の調理と地域の食文化の指導事項を示したものです。下線部について、水蒸気で加熱するという蒸し調理の特徴を生徒に理解させるためには、どのような指導が考えられますか。簡潔に書きなさい。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。
(イ) 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。
(ウ) 材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。
(エ) 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。
イ 日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。

2 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (3) には、家庭分野の内容の「A家族・家庭生活」の(1)「自分の成長と家族・家庭生活」については、第1学年の最初に履修させることとされています。この項目を第1学年の最初に履修させる理由は何ですか。簡潔に書きなさい。

6

中学校 技術・家庭科（家庭） 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
1	1	(A)		
		(B)		
	2			
	3	平均 寿命		
		健康 寿命		
	4	(1)		
		(2)	(a)	
			(b)	
		(3)		
	5	(A)		
		(B)		
		(C)		
	6	(1)		
		(2)	①	
			②	

6 中学校 技術・家庭科（家庭） 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄			
2	1	著作権保護の観点により、掲載いたしません。			
	2				
	3	(1)	図Ⅰ		
			図Ⅱ		
			図Ⅲ		
		(2)	えり下	図	
			えり	図	
			脇	図	

6

中学校 技術・家庭科（家庭） 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
	ねらい		
		時	学習活動 指導上の留意点
2	4	1	
	5	(1)	
		(2)	
	6	(1)	
		(2)	
	7		g

6

中学校 技術・家庭科 (家庭) 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
2	8			
	9	(1)	図Ⅰ	
			図Ⅱ	
			図Ⅲ	
	(2)			
		(3)		
3	1	A		
		B		
	2	(A)		
		(B)		
	3	メリット		
		デメリット		
	4			
4	1			
	2			

中学校技術・家庭科（家庭）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
1	1	(A)	住居		各 3 × 2	5 5	
		(B)	単身者				
	2	過去の知識や経験の積み重ねによる総合的な判断能力。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5		
	3	平均 寿命	0歳の平均余命。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		各 5 × 2
		健康 寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。				
	4	(1)	65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		5
		(2)	(a)	患	2つとも合っているものだけを正答とする。		4
			(b)	健			
	(3)	地域包括ケアシステム			4		
	5	(A)	児童の権利に関する条約				各 4 × 3
		(B)	保護				
(C)		成長					
6	(1)	カ			2		
	(2)	①	STマーク	玩具安全マーク もよい。	2		
		②	日本玩具協会の安全基準を満たすと確認された玩具。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5	
2	1	著作権保護の観点により、掲載いたしません。		次の条件を全て満たしていれば、型紙の位置は異なってもよい。 ・リュック本体及び蓋の型紙が正しくかけている。 ・寸法が正しく書けている。 ・リュック本体の底がわになっている。	20	103	

中学校技術・家庭科（家庭）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
2	2	イ		4	
	(1)	図Ⅰ 本ぐけ	本ぐけ もよい。	各 4 × 3	
		図Ⅱ 三つ折りぐけ	三つ折ぐけ もよい。		
		図Ⅲ 耳ぐけ	耳ぐけ もよい。		
	(2)	えり下 (図)Ⅱ		各 3 × 3	
		えり (図)Ⅰ			
		脇 (図)Ⅲ			
	3	捨てられる衣服等を使って、学校生活を豊かにするための布を用いたバッグの製作について問題を見だし、課題を設定することができる。			
		時	学習活動	指導上の留意点	
		4	1	1 現在使っているバッグの問題点を考え、ワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーが製作したアップサイクルの作品を紹介し、生徒の学習への意欲を高めるようにする。 ・縫い目をほどいたTシャツの画像を参考にして、Tシャツからバッグを製作する場合と、生地からバッグを製作する場合を比較し、問題点を考えるように促す。 ・現在使っているカバンの問題点を踏まえて条件やデザインを考えるように促す。 ・ICT機器を用いて、使う立場に立って、アイデアを出し合いまとめるよう助言する。 ・見通しをもって主体的に製作に取り組めるように使用目的とともに自分の技術や材料を考えて製作可能かを意識しながら課題を設定するように助言する。
2 ゲストティーチャーから地域の衣服等の廃棄の現状や回収、アップサイクルの取組について話を聞く。					
3 廃棄される衣服等を使ってバッグを作る際の問題点を考え、発表しあう。					
4 廃棄される衣服等を使って製作する学校生活を豊かにするための布を用いたバッグの条件やデザインを個人で考え、ワークシートにまとめる。					
5 グループになり、製作するバッグに適した材料や縫い方の工夫について調べ、バッグを製作するためのアイデアを話し合い、クラスで共有する。					
6 クラスから出たアイデアに対して、ゲストティーチャーからアドバイスをもらう。					
7 学校生活を豊かにするための布を用いたバッグの製作について、個人で使用目的と課題を設定し、ワークシートにまとめる。					
8 本時を振り返り、次時の活動や準備物を確認する。					
5	(1)	単純脂質		2	
	(2)	ウ		4	

中学校技術・家庭科（家庭）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
2	6	(1)	31		4
		(2)	ア		2
	7	267 (g)			4
	8	ウ			2
	9	(1)	図Ⅰ	ア	
図Ⅱ			ウ		
図Ⅲ			オ		
(2)	ウ			2	
(3)	外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー等を導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
3	1	A	プラ		各 2 × 2
		B	アルミ		
	2	(A)	社会保険		各 4 × 2
		(B)	社会福祉		
3	メリット	損失が発生した場合、貯蓄は、損失をカバーできるだけの金額が貯まっているとは限らないが、民間保険は最初から損失をカバーできる金額を確保できる。		問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	各 8 × 2
	デメリット	貯蓄はどのような損失にも使えるが、民間保険は、保険料を払った対象となる損失でなければ、保険金が支払われない。			
4	エ			4	
4	1	ゆでる、いためる調理などと比較する活動を取り入れた指導を行う。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	2	小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5